

# テニス協会

昭和 57 年(1982 年)創立

## 【あゆみ】

昭和 57 年(1982 年)7 月に協会が創立され、26 年間の活動を続けています。その間、日本の経済構造に大きな変化があった期間でした(バブル期・バブルの崩壊・低成長・少子高齢化・人口減少等)。

協会創立当時の加盟団体数は、12 団体、加盟人数は 2,300 名でしたが、10 年後には 25 団体、4,000 名になりました。しかし、テニスクラブの閉鎖、事業所の休部あるいは移転により、現在では 18 団体、3,300 名に減少しています。とくに、茅ヶ崎市の JR 線路以南 4 カ所のテニスクラブ(計 19 面分)が閉鎖したことは、協会にとりまして大きな痛手でした。

## 【今後の課題】

### ① 施設の充実

茅ヶ崎市におけるテニスの普及は、民間クラブの施設によって支えられてきました。23 万人の人口の市としてはコート保有量が非常に少なく、民間のテニスクラブの閉鎖により益々窮地に陥ろうとしています。ちなみに、本市の公営コートの現保有数は 16 面で、これに対し隣の平塚市は 26 面、藤沢市は 27 面、厚木市は 29 面の公営コートを持っています。

相模川河畔スポーツ公園移転整備計画には、現在のところテニスコートの予定は入っていません。テニス協会として今後活動していく上で、関係団体と協力体制を進めていかなければならないと思っています。

### ② テニスの普及

生涯スポーツとして、誰でも、どこでも、いつでも楽しめるテニスの普及は、市民の健康づくりに大変役立っています。協会の普及指導委員会を、より時代に対応した一般部会、ジュニア部会、シニア部会、指導員部会に分けて、事業の充実を図るために、機能をフルに活用して、テニス教室、ジュニア・シニアの大会等の企画、運営をしていかなければなりません。それには、茅ヶ崎市の関係部局、関係団体との協力を積極的に進めていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

《テニス協会の事業》(参加者数は平成19年(2007年)度実績)

〈主催大会事業〉

- ① 春季茅ヶ崎市民テニス大会(5月)  
種目:男子複、女子複(参加数70組140名)
- ②・③ 秋季・春季茅ヶ崎市実業団対抗兼県予選(8月・3月)  
種目:男子単3・複2、女子単2・複1(参加数15チーム)
- ④ 茅ヶ崎市クラブ対抗兼県予選会(11月)  
種目:男子一般・35・45・55歳、女子一般・35・45歳(参加数5クラブ・70名)
- ⑤ 茅ヶ崎市テニス選手権兼県予選(2月)  
種目:男子一般・35・40・45・50・55・60歳 単・複、女子一般 単・複  
(参加数:男子一般:単57名・複29組、女子一般:単12名・複8組、  
年齢別:単21名・複12組)

〈主催育成事業〉

- ① 市民レディーステニス教室  
4日間 各2時間 春・秋開催(参加者数:春48名・秋32名)
- ② 市民ジュニアテニス教室  
毎週全8~9回各1時間 年間6コース 幼児・小学生クラス  
(参加者数:年288名)

〈主管事業〉

- ① 茅ヶ崎市総合体育大会テニス競技(9月・10月)  
種目:男子複・女子複・混合・シニア混合  
(参加数:男子複113組、女子複68組、混合91組、シニア混合15組、  
計287組・574名)
- ② 茅ヶ崎市シニアテニス教室(秋)

〈県大会事業〉 全日本都市対抗県予選・県実業団対抗(ビジネスパル)・県選手権  
・県クラブ対抗へ選手を選考して派遣



(ジュニア教室)